

大理石新聞

No.12

これは「伝統・地場産業を対象にした商品企画事業」のニューズレターです

平成二十四年
九月発行

発行元

伝統・地場産業を対象にした商品企画事業事務局

宇部市あすとぴあ 4-1-1 山口県産業技術センター内

担当：野村

0836-53-5059

みとう道の駅で新商品の
展示・販売をしました！

8月1日～31日

■7月12日
説明・検討会

■9月20日
報告会・組合の今後の
活動について

■MINEマールクラフト展で 新商品を発表

メンバー山尾さんの鶴の一声で開催が決まった「MINEマールクラフト展」で今までの私たちの成果を展示しました。

(二部、販売。一部、展示のみ。)

道の駅には期間中約一万人が訪れ、少なくとも7割程度の人がこの展示を目にしたのではないのでしょうか。20種類の新商品が並び、来場者からは「大理石に対するイメージが変わった！」という声が聞かれました。



■どんな反応？

展示品での一番人気は丸型のキャンドルホルダーです。これはポスター・チラシに使われていて元々の認知度が高かったのもありそうですね。比較的高額ですがいくつか売れました。またアロマオイルを染み込ませる、Eucalyptusは価格的にも買いやすく男女問わず人気でした。女性に特に人気だったのは玉子型花器の玉つころ。ストラップ、ハンコは今回展示品のみでしたが、「これ欲しいのだけど、残念」と言われることもありました。またアンケートにはこんな回答がありました。

「生活に密着したものをこれからも考えて行くことで大理石にも愛着が生まれ関心度が高くなるのでは」(40代女性) 「大理石って高価なイメージがあったのですが、小物にすると自分でも使えるような感じで少し驚きました。」(40代女性)

■子どもに人気 マールクラフト体験は

石を磨いてカードスタンドをつくるマールクラフト体験は48人が参加しました。大理石マイスターの安藤さんが作業途中で石の磨き加減をチェックし、「ここが磨けていない、もうちょっと」とダメ出しが出されることもしばしば。苦勞したぶん、きつと石に愛着がわくはず！



▲将来の後継者がきつと体験者の中から…！

■取材いろいろ

ありがたいことに新聞社4社5紙に掲載、テレビ局2社で放映されました。TYSの「ふるさと特派員」というコーナーでは、安藤石材の大理石採掘場と峰北舎の工房などが取り上げられました。また8月23日読売新聞夕刊(全国紙!)ではなんと1面の特集「カワイイ大理石」が組まれました。



▲還暦前の若手ホープ・上村さんと安藤さんが各社インタビューに答える。



■アンケート調査も実施

来場者に好きな商品などを聞くアンケートを実施したところ186人に答えていただけました。その中でも興味深いのは「美称で大理石が採れることを知っている？」と聞いてみたところ、県内在住者の8割は認知しているという結果に。大理石の認知度は決して低くはないことが明らかになりました。しかし逆に県外在住者は8割の人が「知らない」ということもわかりました。

■この流れを…！

MINEマールクラフト展、とても反響が大きかったと思います。この流れを止めないように、がんばろう！山口県大理石オニックス組合！

7月12日
メンバー
(順不同・敬称略)

上村典明
(峰北舎)

安藤浩太郎
(安藤石材)

杉本蕃
(杉本大理石)

水津隆之
(スイズ産業)

渡辺洋子

山尾春行

河村雅江

岡村祐子

水沼・野村

9月20日
メンバー
(順不同・敬称略)

安藤浩太郎
(安藤石材)

杉本蕃
(杉本大理石)

渡辺洋子

山尾春行

河村雅江

木村和枝

金子敦子

石丸智之

山下峻史

大庭直子

水沼・野村

次回予告

未定

後日連絡します！